

ネバーギブアップ

4月2日(月) ~ 4月4日(水)

IN 兵庫県立南但馬自然学校



	午前	午後	夜
1日目	施設向け出発	名札作り 野外炊飯	ナイトハイク
2日目	レクリエーション 野外炊飯	野外炊飯 垂れ幕作り	キャンプファイヤー
3日目	掃除 レクリエーション	閉村式	

一日目： 快晴のもと、尼崎に全体集合しバスにて施設まで向かいました。今回のキャンプは『ストーリーキャンプ』で、話のプロローグを車内にて話しました。施設に到着し昼食を取ったあと、早速主人公とヒロインが現れ、私達に名札を作ってもらおうようお願いしてきました。それにより我々は、手ごろな丸太を拾って、のこぎりで輪切りにし、やすりで磨いて、文字や自分の名前などを書き自分たちの分とグループで主人公に渡す分とを作りました。そのあとは野外炊飯でカレーを作りました。材料は同じですが、水の量や煮込む時間などで味が全く違ったので驚きました。どのグループもみんなで協力した料理だったので美味しく食べていました。ストーリーの主人公にも食べてもらったので、その時は皆嬉しそうでした。片付けの時は日も暮れ、辺りも暗く、水もまだまだ冷たかったですが、みんな負けずに頑張っていました。この施設は厳しくて有名なのですが、一発オッケーをもらうグループもあり、一生懸命さがしっかりと表れていました。夜はナイトハイクを行いました。上空の風の流れが非常に早く、まるで月が高速移動しているかのような錯覚に陥り、自然の不思議さを感じる事ができました。



二日目： 一晩明けると、外は爆弾低気圧の影響ですごい風と雨でした。小枝が飛んでいて、活動には厳しい状況でしたが、参加者のみんなは結構楽しんでいました。朝食後は、主人公と一緒にレクリエーションを行い、そのゲームの結果食材を得て、うどん鍋を作りました。一日目に使った野外キッチンも風の影響で使用不可だったので、急遽食堂で行いました。色々変更がありましたが、貴重な体験と思い、前向きに楽しんでいました。うどん生地は一日目のカレー作りの時に一緒に作っていました。それをみんなで協力し、麺棒と打ち台で必死に伸ばして薄くし、見事なうどんを作っていました。だしはかつおベースに自分達で醤油や塩こしょうで味付けをしていました。具材も重なり、全てのグループがカレー以上に異なった味を作っていました。こうして完成したうどんはもちろんベロリと完食しました。うどん作り後は軽登山を予定していましたが、あいにくの天候のためレクリエーションに変更しました。あまり体を動かしていないので、存分に動かしました。宿泊棟に戻り、主人公を応援するために垂れ幕を作りました。思っている以上に想いをつづっていました。夜は主人公が闘い、勝ちを手にするところを見届け、勝利を祝したキャンプファイヤーで大いに盛り上がりました。



三日目： 悪天候から一夜明け、朝から眩しい程の太陽が差し込む最良の天気でした。朝食を済ませ、利用した場所の清掃を行った後、みんなで『旗とり』というゲームを行いました。非常にエキサイティングなゲームで、誰もが大いに盛り上がりました。勝てば手を上げ喜び、負けると「もう一回！」と訴えてくるほどでした。不安定な場所を走り回るので、注意を促した上である程度のケガは覚悟していましたが、全くなく、しっかりとルールを守った上で活動をしていただけました(リーダーがかけていましたが...)。ゲームもあつという間に終わり、食堂に向かい昼食をお腹いっぱい食べました。そして施設にさよならを言い、バスは出発しました。帰りの車内もテンション上がりっぱなしで、最後の最後まで元気ハツラツでした。



<キャンプ総括>

ストーリーを進行しながら、プログラムを行っていくキャンプをしていく内容でしたが、初めはなかなかストーリーに入り込んでいけない様子が結構見られましたが、一日目の夜には、すっかりとキャラクターの話で盛り上がりしていました。どれだけ世界観に入り込めるかで、今回のキャンプを楽しめるかが関わってきます。参加者の皆さんはそれを自分達で理解し、活動に取り組んでいたのも、非常に大人な対応をしていたと思います。これは、ストーリーだからという訳ではなく、キャンプ全般に言えることで、どれだけ入り込めるかが重要となります。楽しさはもちろんのこと、キャンプを通して伝えたいこと、感じてほしいことを持って帰っていただく為にも、我々リーダー側も一丸となり雰囲気を作っていかなければならないと改めて実感しました。

(竹中 哲郎)